

住宅セクション  
Vol.4  
一般社団法人 東京建築士会 編

---

Housing Selection  
Vol.4  
Tokyo Society of  
Architects & Building Engineers

---

か し こ い 家

## 仕上げ材のオールラウンダーは上品な木目

ロシア白樺耐水合板

テツヤ・ジャパン

**仕**上げ材として一般的な合板といえば、まずシナが挙がるでしょう。しかし、私が手がける最近の物件には、シナ合板よりも曲げ強度があり、湿気に強く、色合いもシナに似ているロシアンバーチ（白樺）の合板を頻繁に採用しています。

### あらゆる場面にマッチング

テツヤ・ジャパンで扱う「ロシア白樺耐水合板」は、耐水性があつて外壁材にも使えるすぐれものです。構造用合板よりも高強度というデータもあります。寸法安定性も高いため、内装材をはじめ造作材や建具材としても重宝します。

サイズは2440×1220mm(4×8判)と大判。厚さは4、6.5、9、12、15、18、21、24、30mmと多種あり、用途に合わせて選択できます。木目は長手方向に伸び、表側に継ぎ目がありません。芯材もすべて白樺単板で構成されていて、木口(断面)がきれいなことも特徴です。そのほか、積層面を化粧面とした板材や、30mm角もあつて、空間全体で素材の統一感を図れます。

### オリジナルの床材をオーダー

テツヤ・ジャパンでは、販売だけではなく、<sup>きね</sup>実加工してフローリング材としても出荷しています。オーダー加工もしているのです、サイズや形状も自由自在。換言すればオリジナルのパターン表現ができるということです。表面の仕上げも、オイル仕上げからウレタン塗装、液体ガラス塗装まで、用途に合わせて対応。また、シナ合板より色の入りがよく、濃い目の着色も可能で、フロアデザインの幅はますます広がります。そもそも合板なので材の伸縮がほとんどなく、床暖房も使えるのはメリットに数えられるでしょう。

床材以外にも、耐熱性や耐水性を活かし、デッキ材や木製サッシの部材として、あるいは遮音性の高さを活かして音響ルームに使うなど、用途が広いのも特徴です。「合板」というカテゴリーのなかでは安価とは言い難いですが、材のクオリティを考えれば、コストパフォーマンスは非常に高いといえるでしょう。

文=山崎裕史(ヤマサキアトリエ)



「Pastorale 104」設計：山崎裕史（ヤマサキアトリエ）  
床面と壁面に「ロシア白樺耐水合板」を張ってインテリアに統一感を持たせた。

株式会社 テツヤ・ジャパン  
兵庫県神戸市垂水区清水が丘3-7-2  
TEL 078-647-7721  
FAX 078-647-7731  
MAIL info@tetsuya-jp.com  
URL http://tetsuya-jp.com